



中長期的な成長に向けたファイナンス・パッケージについて

ラクスル株式会社（東証プライム市場：4384）

2024年1月23日

中長期的な成長に向けた ファイナンス・ パッケージについて

- 中長期的なオーガニック成長を支える運転資金、連続的なM&Aを通じた領域拡張、最適な資本効率を実現するため資金調達を実施
- 借入・私募債・コミットメントライン、変動・固定金利を組み合わせることで、必要な資金需要に応じた調達条件や全体の金利コストを最適化

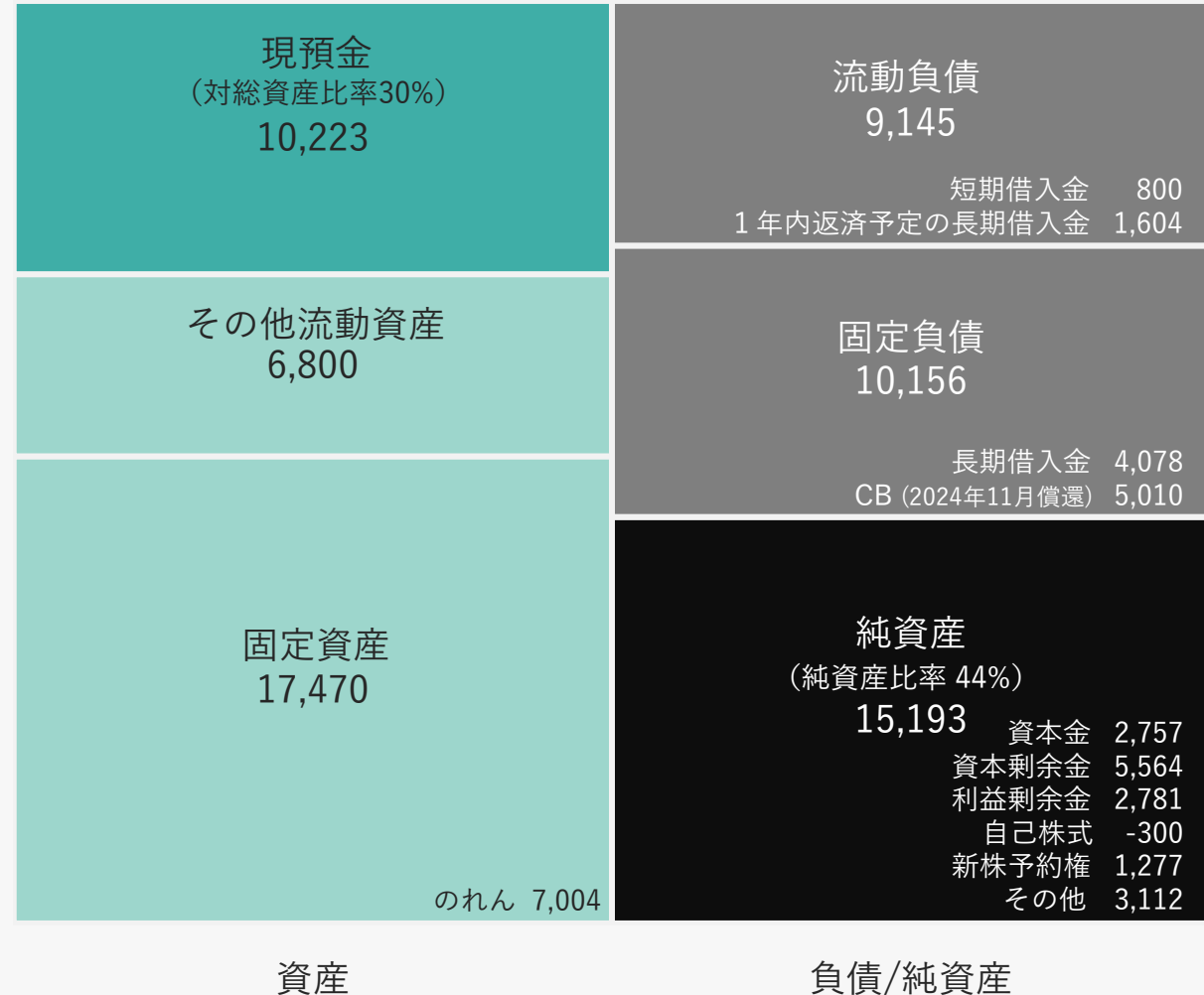
名称	金融機関	金利	期間	借入額及び コミットメントライン枠の総額
借入	株式会社三井住友銀行 株式会社りそな銀行 日本生命保険相互会社 ほか	年利 0.41 - 0.85% 変動及び固定金利 (予定)	5年 - 10年	42.5億円 (予定)
私募債	国内金融機関2行	金利と発行手数料を含む オールインコスト 年利換算 0.79 - 1.49% 固定金利 (予定)	4年 - 5年	24.5億円 (予定)
コミット メント ライン	株式会社みずほ銀行	基準金利 + スプレッド	1年毎更新 (更新にはみずほ銀行所定の 審査が必要)	10億円 増額要請により最大200億円 M&Aに際して、買収資金として最大200億円 までの融資枠増額の要請が可能 (増枠にはみずほ銀行所定の審査が必要)
合計	-	-	-	267億円 極度枠・増額要請分 を含む最大調達額

当社バランスシートの 現状と今後の見通し

- 今後事業活動以外で想定されるバランスシートの変化は、2024年11月のCB償還(約50億円)
- 今回の資金調達実施により、CB償還を想定しても現状から現預金は増加し、コミットメントラインを通じてM&Aに必要な資金調達手段も確保
- オーガニックな成長を支える運転資金、機動的なM&Aの原資、最適な資本効率を実現するキャピタル・アロケーションを行うための原資とする

2023年10月時点の連結BSサマリー

(百万円)





仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる

ディスクレーマー

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。
これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。
さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
実際の結果は環境の変化等により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、
当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、
かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

お問い合わせ先

IRグループ

Email : ir@raksul.com

IR情報 : <https://corp.raksul.com/ir/>